



NIHS特別講演会（殿町#9）

演題

ユビキチンリガーゼを標的とした 嚢胞性線維症の治療薬開発



講師

沖米田 司 先生

関西学院大学 理工学部 生命医化学科

要旨

嚢胞性線維症（Cystic Fibrosis, CF）は白色人種間で頻度が高い致死性の単一遺伝病である。CF は塩素イオンチャネル CFTR の遺伝子変異、特に、 $\Delta F508$ 変異により発症し、40歳までに多くの患者が死に至る難病である。近年、CF 治療薬として、CFTR modulator（Orkambi®）が上市されたが、その治療効果は弱く、現在、有効な治療法は確立されていない。

我々は CF 治療薬 CFTR modulator の作用機序を明らかにし、その問題点を提起した。また、表現型スクリーニングにより、CFTR modulator の有効性を減弱させるユビキチンリガーゼを同定した。本講演では、ユビキチンリガーゼを標的とした CF 治療薬開発の最新状況を紹介する。

ご略歴

1998年 熊本大学薬学部卒業（薬剤師免許）、2003年熊本大学大学院薬学研究科修了（薬学博士）。

2003年 独立行政法人 科学技術振興機構 SORST 研究員（英国ケンブリッジ医学研究所）、2006年 トロント小児病院研究所細胞生物学部門（カナダ）、2008年 マギル大学生理学部（カナダ）にて博士研究員、リサーチアソシエイトを歴任。

2013年 関西学院大学理工学部生命学科准教授を経て、2019年に関西学院大学理工学部生命医化学科教授。

日本では珍しい CF 創薬研究者で、研究成果は Science 2010, Nat Chem Biol 2013, Dev Cell 2018 等で発表している。

日時

2019年6月21日（金）

16:30~18:00 開場16:00

国立医薬品食品衛生研究所 2階 共用会議室

【お問い合わせ先】 国立医薬品食品衛生研究所 遺伝子医薬部 井上 貴雄
電話：044-270-6536 メール：takao@nihs.go.jp